

平成 27 年 5 月 21 日

太平洋クロマグロ 2014 年生まれ加入量モニタリング速報(2015 年 5 月)について

(取りまとめ機関)

独立行政法人水産総合研究センター

(参画機関)

水産庁

長崎県総合水産試験場

はじめに

平成 27 年 5 月 21 日に水産庁ホームページにおいて、太平洋クロマグロ 2014 年生まれ加入量モニタリング速報(2015 年 5 月)が公表されました¹。本紙では、速報に用いたデータについて説明いたします。

太平洋クロマグロの産卵は、南西諸島海域では 4 月下旬～7 月上旬に八重山諸島～沖縄本島で行われ、日本海では主として 7 月に隠岐諸島～能登半島で行われると推定されています²。南西諸島海域で生まれた 0 歳魚は、7 月以降に西日本の太平洋側の沿岸域や長崎県五島及び対馬において、曳縄によって養殖種苗の用途として漁獲され、日本海生まれの 0 歳魚は 10 月以降に島根県隠岐諸島において、曳縄によって養殖種苗として漁獲されます(図 1)。また、秋から翌年の春にかけて、日本の沿岸域において 0 歳魚(メジ・ヨコワ)を対象とした曳縄が行われます。

今回公表した太平洋クロマグロ加入量モニタリング速報では、

- ① 7～12 月の西日本で曳縄漁船によって漁獲された養殖種苗の活込尾数
- ② 10 月～翌年 3 月の日本全国の曳縄漁船によるメジ(ヨコワ)漁獲量(鮮魚用途の漁獲)
- ③ 九州西での曳縄モニタリング船の 11 月～翌年 2 月における漁獲状況

に基づき 2014 年の加入状況を推定しております。①～③は、南西諸島海域生まれと日本海生まれの両方を含む 0 歳魚全体の加入水準を示します。速報で示した資源評価による加入量推定値は、過去の加入量の変動を示す参考情報です³。

¹ <http://www.jfa.maff.go.jp/j/press/sigen/150521.html>

² <http://www.jfa.maff.go.jp/j/press/sigen/pdf/tenpfail140514.pdf>

³ <http://fsf.fra.affrc.go.jp/pdf/kuro-kanyushousai20140930.pdf>

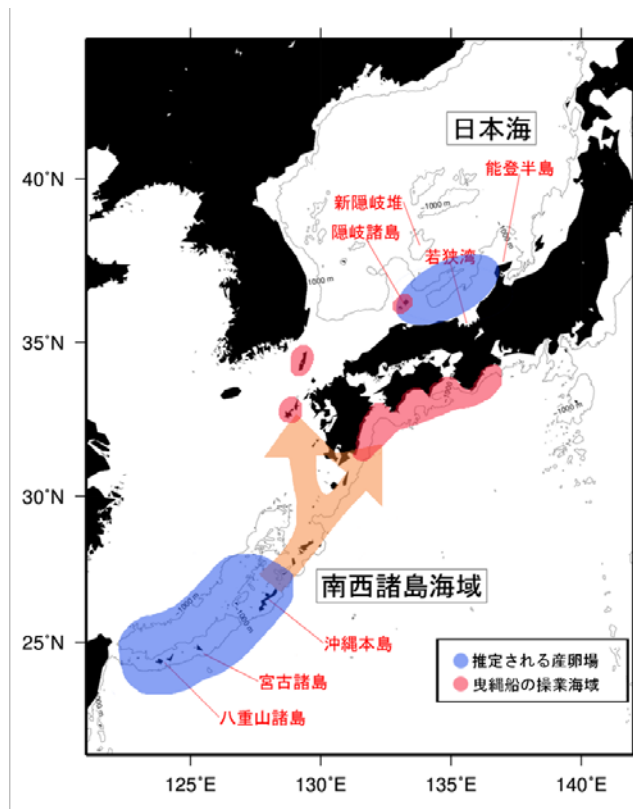


図1 太平洋クロマグロの産卵場と曳縄による養殖種苗採捕の漁場。

① 7～12月の西日本で曳縄漁船によって漁獲された養殖種苗の活込尾数

2008～2014年の7～12月における太平洋クロマグロ0歳魚の養殖種苗の活込尾数を以下の3種類のデータを用いて推定し、加入水準としました。

- ◆ 水産庁による沿岸クロマグロ漁業の実態把握調査(2008～2010年)
 - ◆ 全国のクロマグロ養殖業者からの養殖実績報告(2011～2014年)
 - ◆ 沿岸承認船による漁獲成績報告(2014年)
- ※ ()内は、該当するデータを使った年。

② 10月～翌年3月の日本全国の曳縄漁船によるメジ(ヨコワ)漁獲量(鮮魚用途の漁獲)

2000～2015年の10月～翌年3月の日本全国における曳き縄漁船によるメジ(ヨコワ)漁獲量を以下の3種類のデータを用いて推定し、加入水準としました。

- ◆ 日本周辺国際魚類資源調査(水産庁委託事業)と漁業・養殖業生産統計年報(2000～2007年)
 - ◆ 日本周辺国際魚類資源調査(同上)と水産庁による沿岸クロマグロ漁業の実態把握調査(2008～2012年)
 - ◆ 沿岸承認船による漁獲成績報告書(2013～2015年)
- ※ ()内は、該当するデータを使った年。

③ 九州西での曳縄モニタリング船の11月～翌年2月における漁獲状況

太平洋クロマグロ0才魚の加入量の早期把握を目的として、平成23年より高知県及び長崎県の計24隻の曳縄漁船をモニタリング船として、曳縄モニタリング調査を開始しました。平成26年より本調査は、6県において合計61隻のモニタリング船による調査体制となり、西日本(太平洋南、九州西、日本海西)の広範な水域をカバーしています(図2)。本調査では、各モニタリング船に陸上と通信可能なデータロガーを設置し、位置情報、漁獲情報及び水温情報を記録します。記録したデータは、電子メールにより陸上にリアルタイムに送信されます。

曳縄による鮮魚用途の0歳魚の漁獲は、例年11月以降に本格化し、冬期に漁獲がピークとなります。特に、長崎県の五島や対馬では曳縄漁業が盛んで、長崎県の曳縄による太平洋クロマグロの漁獲量は全国と同漁獲量の6割以上を占めています。今回の速報では、長崎県の五島・対馬(九州西エリア)に設定した曳縄モニタリング船で収集した操業・漁獲データを元に、1日1隻当たりの漁獲尾数として求めたCPUEを加入水準として示しました。

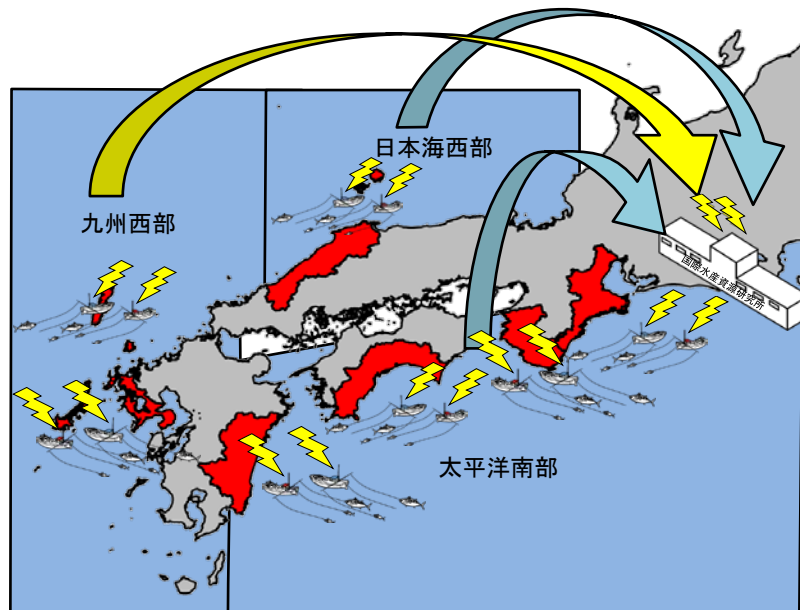


図2 曳縄モニタリング船調査におけるデータ収集の模式図.